

大学名 岡山大学

第55号テーマ
「大学と文化・芸術」

表題 国吉康雄の世界最大規模のコレクションを研究・顕彰・運用し、
多様なコミュニティの中で大学が中心となった地域芸術文化資源の新たな価値付け

特色ある取組

- 岡山大学大学院教育学研究科「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座(以降、本講座)は、(公財)福武教育文化振興財団と(公財)福武財団の寄付によって運営される、岡山大学で初の人文社会系の寄付講座です。
- 本講座は、(公財)福武財団と岡山県立美術館が管理する、岡山市出身でアメリカを代表する洋画家である国吉康雄(1889-1953)の、世界最大規模のコレクションを研究・顕彰・運用する講座です。大学が、地域出身のアーティストを研究する例は全国にありますが、その運用を、地域行政、各種団体、企業との協働事業という形で実施し、岡山はもちろん、全国各地の公立・民間美術館で独自の企画展覧会や教育普及活動、アートイベントを行う事例は極めて稀です。

企画展を実施した美術館：横浜そごう美術館、和歌山県立近代美術館、瀬戸内市立美術館(岡山県)、栃木県立美術館、熊本県立美術館、宇城市不知火美術館(熊本県)、岡山シティミュージアム
 協働した主な団体・企業：(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団、(公社)岡山県文化連盟、ベネッセアートサイト直島、(株)ベネッセホールディングス、ヤマトグローバルロジスティクス(株)、岡山トヨタ、JR西日本など

- 2019年度は、アートによる離島振興を行う、香川県直島を中心としたアートプロジェクトとの連携による独自展覧会を、岡山市立の美術館で、岡山トヨタ、ベネッセなどの地元企業と、(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団との協働事業として実施。秋には、岡山フィルハーモニック管弦楽団との共同事業と、岡山県北部の児童減少地域での学生との企画によるアートイベントを、(公社)岡山県文化連盟と実施予定です。

上記取組による成果・評価 など

本講座が(公財)福武教育文化振興財団との連携により行なってきた「対話探求型絵画鑑賞法」の、教育機関、福祉施設での普及活動と、学生と企画・運営するアートイベントの実施は、(公社)企業メセナ協議会が認定するメセナ事業「This is MECENAT 2019」に認定されました。また、2018年度に企画した、瀬戸内市立美術館(岡山県)、栃木県立美術館、熊本県立美術館、宇城市不知火美術館(熊本県)での展覧会活動と県内外での教育文化活動により、「岡山県芸術文化賞」準グランプリを受賞しました。

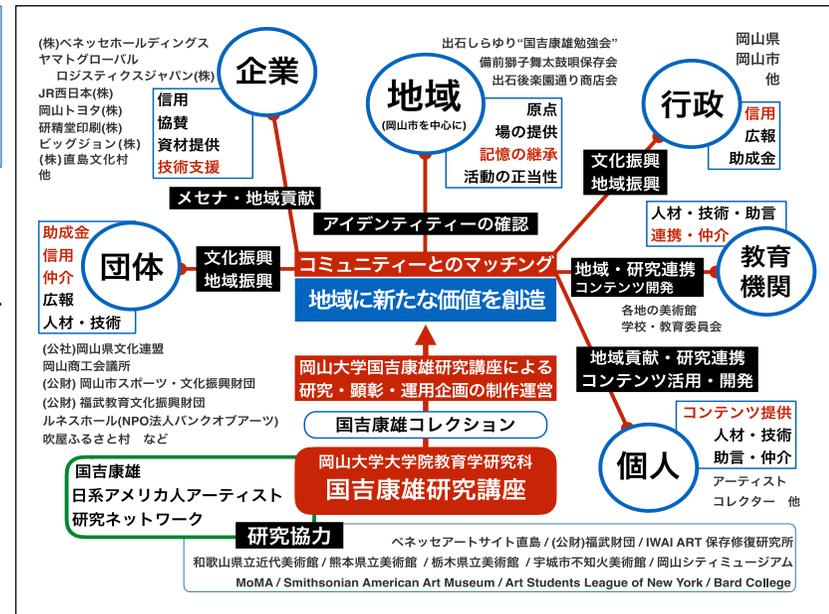
岡山県芸術文化賞受賞会場で学生、地域の方との記念撮影



取材対応者



才士真司
准教授



本講座が獲得した協働関係図

参考URL

国吉康雄PJ HP <http://www.yasuo-kuniyoshi-pj.com/>